

国語科（1年）学習案内

1. 使用教科書・教材

伝え合う言葉 中学国語1（教育出版） 新・基礎の学習国語1年（新学社）
 国語便覧（浜島書店） 学習漢字ノート教1（浜島書店） すらすら基本文法（浜島書店）

2. 学習の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

3. 評価の観点・方法

評価の観点		方法
知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。	定期テスト、漢字テスト、小テスト等
思考・判断・表現	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができる。	定期テスト、ワークシートの記述、小テスト等
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養おうとしている。	授業の様子、提出物、授業記録、ワークシートの記述等
<p>(1) 上の観点について、それぞれA～Cの3段階で評価する。</p> <p>(2) 学習のまとめりにA～Cの観点別評価を総合して、1～5の5段階で評定する。</p>		

4. 学習計画

	教材	目 標	主な学習内容
4 月 ～ 7 月	ふしぎ	・中学校の学習に関心をもつ。	・詩の音読、朗読
	桜蝶	・文学作品の構成や展開を描写をもとに理解する。	・構成・展開・描写の仕方
	お気に入りの一品を紹介する	・伝えたいことを明確にして、お気に入りの一品を紹介する。	・相手に伝わるスピーチの仕方
	文法の小窓1	・言葉の単位について理解する。	・言葉のまとまりの理解
	自分の脳を知っているか	・文章の中心的部分に着目し、内容を捉える。	・構成・要約
	資料から得た根拠をもとに意見文を書く	考えの中心を明確にして、段落構成を考える。	・情報の整理の仕方 ・引用の仕方
7 月	漢字の広場1	・漢字の部首の理解を深める。	・部首の概念理解、部首の確認
	言葉の小窓1	・日本語のもつ音の特徴を理解する。	・アクセント、イントネーション
	内容を整理して説明する	・聞き手がわかりやすいよう話す内容を整理表現する。	・情報と情報の関係

	書写（硬筆）	・文字の大きさ等に留意して書く。	・硬筆の持ち方、姿勢、文字の大きさ
	ベンチ	・人権や平和について考える。	・人権や平和についての考察
	全ては編集されている	・写真の特徴を生かし、活用の仕方について考える。	・情報の整理の仕方
	漢字の広場2	・画数と活字の字体の理解を深める。	・字体、画数、字形
	材料を整理して案内文を書く	・目的や意図を意識して、案内文を書く。	・案内文の書き方
9月～10月	持続可能な未来を創るために	・持続可能な社会の実現に向けて、自分の課題を発見する。	・情報と情報の関係
	森には魔法つかいがある	・問いとその答えを見つけていく展開を捉えて読む。	・問いと答え・事実と意見
	文法の小窓2	・文の成分の役割を理解する。	・主語、述語、修飾語、接続語、独立語
	根拠を明確にして意見文を書く	・根拠をはっきりさせて、意見文を書く。	・意見と根拠 ・根拠の明確化
	広告の情報を考える	・目的に応じて言葉と画像を組み合わせ、広告を作る。	・情報の整理の仕方
	昔話と古典	・古典の作品を知り、仮名遣いにふれる。	・古典特有のリズム・文語のきまり
	物語の始まり	・古典の仮名遣いに注意して音読し、内容を捉える。	・歴史的仮名遣いに注意した音読
	故事成語	・きまりを理解し、文章の響きを味わう。	・漢文訓読、書き下し文
10月～12月	蜘蛛の糸	・わが国を代表する作家とその作品にふれる。	・近代小説の表現
	河童と蛙	・場面と描写を結びつけて読む。	・登場人物の役割、朗読
	オツベルと象	・擬声語、擬態語に注意して読む。	・擬声語・擬態語・場面設定
	随筆を書く	・身近に起きたことなどまとめて叙述の仕方を考える。	・叙述の仕方
	言葉の小窓2	・日本語の文字の特徴を理解する。	・平仮名・片仮名・いろは歌
	書きぞめを書く	・文字の大きさや字間、行の中心など理解して書く。	・文字の大きさ、配列、行の中心
	子どもの権利	・論理の構成や展開に着目して、筆者の主張を読む。	・事実と意見・構成
	調べた内容を聞く	・相手の話を聞き記録や質問をしながら内容を捉える。	・記録や質問の仕方
	漢字の広場3	・漢字の音と訓の理解を深める。	・音・訓
1月～3月	言葉がつなぐ世界遺産	・筆者のものの見方や考え方を捉える。	・問いと答え
	読み手を意識して報告文を整える	・読み手の立場に立って、文章を整える。	・図表の読み取り・推敲
	文法の小窓3	・自立語・付属語などの分類の基準について理解する。	・自立語、付属語、活用の有無、品詞
	発言を結びつけて話し合う	・話題を意識して話し合い、発言を結びつける。	・情報と情報の関係
	漫画で「物語」を表現する	・漫画の中の絵と言葉との関係を捉える。	・言葉の効果
	漢字の広場4	・熟語の構成の基本的な型を知る。	・熟語
	四季の詩	・それぞれの詩の題材を捉える。	・季節感・詩のイメージ
	少年の日の思い出	・場面の展開等に注意し登場人物の心情変化を捉える。	・心情変化・描写・展開
	言葉の小窓3	・方言と共通語の特徴について知る。	・共通語と方言の役割